

## 第2回吹田市小学校給食調理等業務委託事業者選定委員会 議事録

### 1 日時

令和元年6月12日(水) 午後1時30分 ～ 午後5時00分

### 2 場所

吹田さんくす3番館 4階 大会議室

### 3 出席委員

委員長 吹田市立小学校校長

副委員長 公認会計士

委員 吹田市 PTA 協議会代表者

吹田市立小学校教頭

吹田市立小学校栄養教諭

### 4 次第

- (1) 財務関係補足説明
- (2) プレゼンテーション (3 事業者)
- (3) 評価点集計
- (4) 協議 (事業者選定)

### 5 議事内容

○**委員長** これより第2回吹田市小学校給食調理等業務委託事業者選定委員会を開催する。

本日のスケジュールの流れについて事務局に説明を求める。

○**事務局** まず、参加事業者数と選考方式について説明する。今回吹田市小学校給食調理等業務委託事業者選定に応募した事業者は3者であり、辞退した事業者はなかったため、本日のプロポーザル参加事業者は3者となっている。

次に選考方式について説明する。各事業者のプレゼンテーションの時間は、提案説明が15分、質疑応答が15分の合計30分間である。プレゼンテーションの順番は、くじによって決めており、C者、B者、A者の順に進めていく。委員は事業者からの提案説明後、提案説明や提案書の内容についての質疑を事業者に対して行うことになる。

それぞれの事業者のプレゼンテーション開始前に事務局より評価基準書を配付する。  
質疑応答が終了次第、評価基準書に点数の記入をお願いする。

事業者の評価についてだが、第 1 回事業者選定委員会において、プロポーザルの際に評価の基準となるものを提示することにして、「評価基準書の配点基準」という書類を配付しているので評価の際の参考にしていただきたい。

評価基準書の評価項目のうち「小学校給食受託実績」の①～③及び「職員配置」の①～④と⑥については、あらかじめ事務局で確認し、点数化したものを 3 者のプレゼンテーション終了後に提示するので、それを参考にして評価基準書への記入をお願いしたい。

ただし、C 者は山田第三小学校を希望しているが、文部科学省の配置基準では調理従事者 3 名以上の配置が必要となっているところ、提案書では 2 名のみ配置となっている。C 者にこの部分の説明を求める必要があるので、質疑応答時に委員より質問していただきたい。

なお、「職員配置」の⑤アレルギー除去食等個別対応の人員については提案書等に記載がないため、調理対応の食物アレルギー除去食の項目とともに審査し、点数を記入することとなる。

3 事業者のプロポーザル終了後、評価基準書に記入した点数を採点表に転記をお願いする。その後、採点表を事務局が回収し、点数の集計作業を行う。委員全員の評価点の合計点数が 6 割以上であることが選定の条件となっている。

ただし、評価点のうち「吹田市学校給食受託実績」と「価格点」は、合計から分けておくことになっている。

そのため、「吹田市学校給食受託実績」の点数（5 点）と、価格点に当たる「提案金額」の点数（20 点）を評価点の合計（140 点）から差し引いた点数（115 点）が 1 名分の点数となる。そこから 5 名分を乗じた合計点数（575 点）の 6 割は 345 点となり、合計点数が 345 点以上であることが選定の条件となる。

○**委員長** 今の説明について、質問はあるか。

○**委員** 特になし。

○**委員長** プレゼンテーションに先立ち、決算関係書類の説明を副委員長をお願いする。

○**副委員長** 今回の決算書の資料はどれも簡易なものである。参加者募集要領に記載して

いる提出資料が、現在は平成 30 年度決算書及び決算関係書類と記載してあるが、もう少し具体的に追記すべきである。次回からは、損益計算書、製造原価報告書、株主資本等変動計算書、個別注記表と勘定科目内訳表、法人税申告書を各事業者を用意させるよう求める。

続いて各者の財務状況について説明をする。

まず A 者は歴史が古く、学校給食業務において実績がある会社だと推測される。貸借対照表の純資産が 21 億 7,800 万円ある。ただ、流動資産の短期貸付金が 15 億 3,800 万円、長期貸付金が 1 億 4,000 万円あり、21 億 7,800 万円内部留保があるものの、そのうちの 16 億 7800 万円をどこかに貸付している点が気になる。流動資産の貸倒引当金が 1 万 6,617 円となっているが、通常だと短期貸付金 15 億円と売掛金 20 億円の 100 分の 1 で計算し、3,500 万円くらいになるはずなので、その点も気になる。

B 者は貸借対照表をみると、10 億近い内部留保がある。少し特徴的な点をあげると、株主資本等変動計算書の中に、役員退職積立金を記載しているところが挙げられる。また、他の事業者と比較すると内部留保額がやや少ないことがわかる。

C 者の決算書は第 2 期となっているが、これは学校給食用に会社を分割したためだと推測される。一般的に考えると給食事業をはじめて 2 回目の決算だと思ってしまうため、個別注記表に記載をする等の対応が必要である。貸借対照表の純資産の部にその他資本剰余金として 4 億 4305 万 6,000 円と記載がある。資本金ではないものの、分離することによって生じた昔の内部留保が表されている。負債と思われるものを積極的にあげており、会計基準をよく理解して財務諸表を作成している。

○委員長 財務関係補足説明について、質問はあるか。

○委員 特になし。

○委員長 それではプレゼンテーションに移る。

---

○C 者 (プレゼンテーション 事業者説明)

(質疑応答)

○委員 仕様書の中には業務責任者と副業務責任者以外に集団給食において1年以上の経験を要する調理員が必要となっているが、調理員に関する記載が提案書にない。この点について、説明を求める。

○OC者 調理補助と記載しているが、実際は1年以上の経験を有する調理員を配置する。

○委員 調理補助に関して「募集」とあるが、これから募集を始めるということになるのか。また、今から募集して学校給食経験者を確保することができるのか。

○OC者 新規採用する際に、学校給食に特化したHPや人材紹介会社に依頼をしており、他市等で学校給食経験者を採用した実績がある。

○委員 提案書では従業員の人数が5名になっている。配膳室は4部屋あるが5名だけで時間は足りるのか。

○OC者 提案書の5名というのはあくまで最低の人数である。献立の状況により人数を調整して運営していく予定である。

○委員 本市の学校給食も受託しているが、何年目になるか。

○OC者 3年目になる。

○委員 提案書の内容も大事だが、契約どおりに実践しているかが一番重要である。この3年間契約内容を守ってきたのか。

○OC者 急な退職により人員の配置が困難になったことがある。その経験を踏まえて、シフト体制をとり、応援体制を整えるなどの対応をしていく。

○委員 3年間で本市所管部署から何か指導や指摘を受けたことはあるか。ある場合は何回くらいか。

○OC者 正確な数は不明であるが、指導を受けたことは実際にある。同じ事態が発生しない

ようその都度真摯に対応してきたつもりである。

○委員 異物混入等があったか。

○C者 ある。異物混入が発生した場合は、現場の業務責任者からマネージャーに報告し、マネージャーから本社に報告するようになっている。

○委員 現在受託している本市小学校では、ドライシステムを使用しているのか。

○C者 ウェット方式のドライ運用である。

○委員 提案書の中で業務責任者、副業務責任者の書き方が2年以上となっているが、未定ということか。

○C者 第2学期から開始の場合、人事辞令が7月から8月にでることが多い。想定していない人事異動があった場合に備えてそのような書き方をしている。

○委員 除去食の対応について、具体的な品目は何か。

○C者 今現在は乳製品と卵製品の2つになっている。

○委員 除去食の運搬方法はどのように行っているのか。

○C者 学年、クラス、名前がわかる状態にした上で、栄養士の担当者が各クラスのワゴンに設置している。

○副委員長 決算書はなぜ第2期なのか説明を求める。

○C者 親会社にある学校給食部という部署が、平成28年10月3日に事業継承会社として設立したのが弊社である。

○副委員長 今後、その旨を個別注記表に記載するよう求める。

○C者 承知した。

---

○B者 (プレゼンテーション 事業者説明)

(質疑応答)

○委員 千里丘北小学校の提案書の中で、令和2年度から、学校給食経験年数が5年ある調理員が加わっているが、現時点で既に配属を予定している者がいるためこのような表記になっているのか。

○B者 現在他市の学校で従事している者を、2年目から配属を検討している。

○委員 提案書の内容が良くても、その内容を実際に実現できるのかが重要である。今まで受託実績のある学校の中で所管部署から何か指摘を受けたことはあるか。

○B者 今現在小学校33校と給食センターを3センター受託している。現在までに食中毒や大きな事故が発生して指摘を受けたことはない。髪の毛の異物混入などの事故は多少ある。そのような事故が発生した場合は会議等で全事業所に共有し、今後同じことが起きないように周知徹底している。

○委員 基本従事者が6人となっているが、欠勤が出た場合はどこから補充を行うのか。

○B者 近隣の受託校より応援を呼ぶ予定である。

○委員 その場合応援に来た調理員の学校で、逆に人数が不足してしまわないのか。

○B者 定数ちょうどの学校から応援は出せないが、定数より多く配置している学校から派遣する予定である。

○委員 本市の給食は一から手作りするものが多いが、ノウハウはあるか。

○B者 他市の多くも、同様に手の込んだ調理を行っているため問題ない。

○副委員長 決算書が3期分あるが説明を求める。

○B者 過去の推移を把握しやすくするためである。

○副委員長 利益剰余金の部に役員退職積立金を設ける会社は今はほとんどない。通常は固定負債の方に役員退職引当金を設けるやり方が一般的である。

○B者 参考にする。

○委員 巡回訪問実績について、全ての小学校に実施しているのか。

○B者 必ず月に1回訪問している。



○A者 (プレゼンテーション 事業者説明)

(質疑応答)

○委員 本市小学校給食の受託をしているが、何年目になるか。

○A者 今年で7年目になる。

○委員 その間に本市所管部署から指摘や指導を受けたことはあるか。

○A者 新しい調理員を配置する際に、技術が伴わないことがあった。学校の栄養教諭から指摘をもらった際は、新人が育つまで指導員を配置し対応した。給食の提供が遅れる等の事態は一切なかった。

事故に関しては、直近2年くらいは特にないが、それ以前に異物混入が発生したことがある。野菜の洗い方等をその都度検証して変更し、それ以降は発生していない。

○委員 提案書にある従業員の人数だが、山田第三小学校が「6人+2人」、西山田小学校が「7人+2人」という表記になっている。この「+2人」は常駐しているのか、それともシフト制になるのか。

○A者 シフト制となる。責任者を含めた社員は毎日出勤となるが、それ以外はパートとなり週4でシフト対応している。行事などで人数が必要な場合や献立内容に合わせて都度調整する予定である。

○委員 つまり山田第三小学校では6人、西山田小学校では7人が必ずいるということではよろしいか。欠けることはないのか。

○A者 そのとおりである。欠けることはない。

○委員 今まで欠けたことはないのか。

○A者 朝に連絡が来て、当日急遽欠席となった際に遅れて配置となったことはある。

○委員 1日中人が欠けていることはないということか。

○A者 そのとおりである。

○副委員長 貸借対照表の中に、流動資産の短期貸付金15億3,800万円と長期貸付金1億4,000万円とあるが、貸付先について説明を求める。

○A者 貸付という形にしているが、実際は実務運用以外の経費をグループ会社で集約し、支払業務等もグループ会社が行っている。その分を短期貸付、長期貸付という形で計上している。他社に貸付を行っているわけではない。

○副委員長 集金したお金は全て本部で管理しているのか。

○A者 本部で計上して、本部で全部の支払業務や管理業務を行っている。



○副委員長 経過勘定ということか。

○A者 そのとおりである。約5年前よりIRを含めて全て発表している。

○副委員長 固定負債の資産除去債務に6,100万とあるがこれは何か。

○A者 弊社は分社しており、弊社の持ち株比率を減らして3年前より共同出資で別会社の設立をしている。現在は別会社に全てを移管しているため、その分を計上したものである。

○副委員長 流動資産の貸倒引当金が1万6,617円となっているがこれは何か。

○A者 把握できていない。

○副委員長 損益計算書の受取利息に2,500万円ほど上がっているが、これは経過勘定から発生する利息ということか。

○A者 そのように認識している。

○委員 巡回指導は必ず月1回行っているのか。

○A者 エリアの担当者が必ず月に1回行っている。

○委員 提案している保護者への啓発や地域交流について説明を求める。

○A者 受託産業のため直接保護者や地域の方へ何かを発信することはないが、学校行事の中で保護者に給食事業者としてお茶出しをしたり、他の自治体では要望があれば保護者向けの食育活動を開催したりしている。



(採点表集計及び集計結果発表)

○事務局 各委員の採点を一覧表示する。各自採点に誤りがないか確認をお願いする。

(誤りなしと確認)

各委員の合計点数 345 点以上が 6 割となるが、全ての事業者がクリアとなったので、評価対象とする。この点数に実績点及び価格点を加えた結果として、A 者 519 点、B 者 517 点、C 者 394 点となり、上位から A 者、B 者、C 者の順となる。

希望調査票から、まず 1 位の A 者は山田第三小学校と西山田小学校を希望しているので山田第三小学校と西山田小学校の最優秀提案者となる。2 位の B 者は千里丘北小学校のみを希望しており、千里丘北小学校の最優秀提案者となる。3 位の C 者は希望により山田第三小学校の次点者となる。

○委員長 ほかに何か質問はあるか。

(発言なし)

○委員長 それでは選定結果に基づいて、事務局に手続をお願いする。

○事務局 選定結果に基づいて、各校の最優秀提案者に対して契約事務を進めていく。

○委員長 議事が終了したので、これをもって第 2 回吹田市小学校給食調理等業務委託事業者選定委員会を終了する。